

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目 款：商工費      項：商工費      目：工鉱業振興費

### 事業名    セラミックパークMINO環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部    地域産業課    地場産業振興係    電話番号：058-272-1111(内 3094)

E-mail:[c11355@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11355@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費                    444,433 千円 (前年度予算額：498,230 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	498,230	0	0	0	0	0	0	430,200	68,030
要求額	444,433	0	0	0	0	0	0	399,900	44,533
決定額	443,679	0	0	0	0	0	0	396,700	46,979

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

セラミックパークMINO(以下、「当施設」)は、建設から18年が経過し、施設の適正な管理運営を図るうえで設備等の定期的なメンテナンスや老朽化に伴う修繕等が必要となっている。

### (2) 事業内容

(下記の5工事は、いずれも「県有施設中長期保全計画」に基づくもの)

#### ○照明設備改修工事

本館2階、3階及びフォーリー等の更新推奨時期(20年)が到来するため、令和3年度から令和4年度にかけて更新(LED化)実施。

#### ○空調設備等改修工事

館内の空気調和機(約30台)について、更新推奨時期(20年)が到来するため、令和3年度から令和4年度にかけて更新を実施。また、同工事に伴う工事監理、美術品の移動を委託。

#### ○自動火災報知装置更新工事設計委託

自動火災報知装置及び煙感知器について、更新推奨時期(20年)が到来す

るため、更新を実施。このことに伴い、前年度に設計委託を実施する。

○電話交換設備更新工事設計委託

館内の電話交換設備（放送設備、無線電話設備、工事等費用）について、更新推奨時期（20年）が到来するほか、電波法改正に伴い設備更新の必要があるため、更新を実施。このことに伴い、前年度に設計委託を実施。

○油圧式エレベータ改修工事設計委託

使用中のエレベータの保守部品の提供が令和5年12月に終了。このことに伴いエレベータの工事を令和5年に実施するべく、前年度に設計委託を実施。

（3）県負担・補助率の考え方

当施設の指定管理者である（公財）セラミックパーク美濃との基本協定において、60万円以上の修繕にかかる費用は県が負担することとなっており、上記事業は修繕にかかる経費として県が実施すべきものである。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	431,796	照明設備改修工事（令和4年度分） 144,586 （※契約額：206,533,800円） 空調設備等改修工事（令和4年度分） 287,210 （※契約額：410,300,000円）
事務費	212	報償費（53）、旅費（42）、消耗品費（12）、燃料費（39）、 会議費（8）、印刷製本費（20）、役務費（38）
委託料	4,878	空気調和機更新工事に伴う美術品移動委託 1,155 同 設計監理委託 3,723
工事委託料	7,547	自動火災報知装置更新工事設計委託 3,187 電話交換設備更新工事設計委託 2,274 油圧式エレベータ改修工事設計委託 2,086
合計	444,433	

**決定額の考え方**

過去の類似事例の落札率を勘案し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 後年度の財政負担

施設の老朽化が進んでいることに伴い、中長期保全計画の策定時点では想定できなかった修繕・故障個所が発生しており、当該計画を適切に見直し、正確に把握する必要があるが出てきている。

今後、劣化状況を調査し計画に反映することで、長期的な観点から計画的な修繕・工事を行っていく。



# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 当施設が、美濃焼はもとより美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、本県の産業・文化振興を図るため最大限活用される拠点施設であり続ける。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R8)	達成率
来館者数（単位：人）		83,962	290,000	170,000	190,000	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。                  施設利用促進、利用者の安全確保のため、適宜、修繕工事など改善策を講じた。新型コロナの影響により来館者数は大幅減となったが、アフターコロナに向け感染対策とともに修繕を進め、利用促進を図っていく。                  （主な工事）                  直流電源装置更新工事、給排水ポンプ更新工事、電動ロールブラインド更新工事、国際会議場スクリーン更新工事、Wi-Fi設備工事</p> <p>指標① 目標：290,000人 実績：83,962人 達成率：29%</p>
令和3年	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	当施設を訪れる年間8万人程の来館者が安全・安心かつ快適に施設を利用するためにも、当事業は必要不可欠である。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	令和2年度の施設利用者を対象にしたアンケート調査では、施設の使い勝手について、「良い」と答えた施設利用者は92%、「普通」と答えた利用者は8%となっている。
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	当施設は、建設から18年が経過し、竣工以来一度も更新しておらず、また不具合等も出始めていることから、故障や破損が起きた場合のリスクを考慮し、定期的な修繕・メンテナンスを適切に行い、影響を最小限に止めることが必要である。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>陶磁器産業は、ライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入等による市場の縮小、担い手の減少など厳しい状況にさらされており、陶磁器文化・産業振興の拠点として当施設の役割を一層果たしていく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>今後、修繕が必要な箇所も年々増えていくと思われることから、中長期保全計画を見直しながら計画的な施設保全に努めるとともに、日常点検により不具合等を早期に発見することで修繕経費を最小限に抑え、来館者の安全・安心と快適な施設利用に努めていく。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	